

---

# セイギのミカタ

山田ひとし

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

セイギのミカタ

### 【Nコード】

N3002D

### 【作者名】

山田ひとし

### 【あらすじ】

そんな遠くない未来。社会は、電子頭脳によって管理されていた。しかしそんな社会になっても「ヒーロー」は存在するこの物語は、謎の電子ウイルス「ワルもの」とそれに対峙するセイギのミカタ「ボク」の物語を書いたものである。

## 第1話：ボク（前書き）

まだまだ未熟で、楽しんでいただけるかは、判りませんが努力していきたいと思います。  
応援よろしくお願いいたします。

## 第1話：ボク

2023年、夏・・・。

テレビの中にたくさんのヒーローがいる中で

ボクは小学1年生でみんなのヒーローだった・・・。

「そんなこともあったなあー!!」

幼馴染で同級生の荒山雄太あらかまゆうたが思い出して笑っていた。

そう。ボクがヒーローだったのも、昔の話。今は中学2年生になりすっかり変わっていた。

ボクの名前は、ひろたまさよし広田正義。

名前の由来は、見たら判ると思うけど正義をつらぬき通せる人間になつて欲しかったらしい。

昔のボクは、そのとおりなろうと努力した。

いじめられている友達を助けるために上級生にケンカを売ったり、授業中うるさい奴を注意したりとか。

まあ、いわゆる真面目ちゃん？だった。

しかし、社会は厳しいもんでそういうやつがいつも損をする。

物を隠されたり、うその噂を流されたり、みんなにシカトされたりとその他いろいろ・・・。

それからボクは変わった。

「昔のことだよ。昔の・・・。」

そう、荒山に言い返した。

「でもよ、まさか5人相手に喧嘩売るなんてな。聞いたとき笑っちゃったよ。」

「だってさ、可愛そうだったし。いじめられてたやつ・・・。」

「しかも勝っちゃたし！ほんとにいい子ちゃんだったよな？」

ボクはそんな荒山を無視して、学校に向かって走った。

現在、ボクが住んでいる古川市もそうだが今の日本は現実と電脳空間をリンクさせている。

そのため交通事故も無くなり、全てが統制される社会になった。そのため1分の遅刻も許されない。

電子頭脳が、プログラム通りに校門を閉じてしまうからだ。

そうなれば、生活指導の鬼瓦の餌食になってしまう。それだけは避けたい！！

「セ　　フ！！」

ボクと荒山は校門に入ったと同時に叫んでいた。

校門が閉まるまで、残り45秒・・・。

危なかった・・・。

息も絶え絶えになりながら、荒山がしゃべりかけてきた。

「は・・・早く・・・教室に・・・行こう・・・ぜ。」

「ああ。」

今日も変わらない、いつもと同じ普通の1日・・・。

そう、思っていた・・・。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3002d/>

---

セイギのミカタ

2011年1月21日02時46分発行